



近隣センター予約システム本格稼働

すでにご承知のとおり「近隣センター施設予約システム」が導入され、去る2月2日に始まった4月分の利用申し込みから本格稼働しました。

現在増尾近隣センターを利用する一般登録団体は90件で、当初懸念されたほど他地区からの登録申請団体の増加は見られませんでした。4月分の抽選結果を見る限り、当選確率は平均で約85%となっており、選にもれた残り15%の団体も翌月初日からの先着順申込みで空き部屋の確保がほぼできた様子です。

また、新規予約システムの導入と相まって、利用時間の延長・拡大及び有料化が決定しました、今後全センターの開閉時間は、午前9時～午後9時までとなるほか、第2・第4・第5月曜日は開館となります。なお、増尾近隣センターの体育室は従来どおり個人に無料開放されますので、その時間帯の団体への貸付けは行いません。使用料は増尾近隣センターの場合、右記のとおりです。

「桜井所長の話」

何もかも新しいシステムに様変わりして、センター利用者の皆さんの戸惑いも少なくないと思います。利用者端末機の操作をはじめ手続き面でも不明の点があれば私たちがいつでもご案内しますので、遠慮なく申し出てください。それから、夜間9時までの利用となりましたので、今後は是非とも夜間利用の促進を図ってまいりたいところです。これからもますます活発な市民活動を行っていただくために近隣センターが皆さんの欠かせぬ活動拠点となるようがんばります。どうかよろしくお願いします。

増尾 近隣センター	体 育 室	2時間	1,200円
	和 室	3時間	450円
	会 議 室 A	3時間	600円
	会 議 室 B	3時間	450円
	料 理 実 習 室	4時間	900円

買上げ金制度廃止 報償金へ上乘せ

柏市では、資源回収システムの変更に伴い、これまで資源組合が、各町会・自治会から買上げてきた資源品の買上金制度の廃止を決定しました。これは、新しい法律の施行による制度上の問題や資源品の収集・選別・加工に要する経費が売上代金を大巾に上回ってしまうという現測から、今後ともこの制度を維持していくことが難しいとの判断に立ったものです。ただし、売上金が報償金とともに、町会・自治会活動の貴重な財源となっていることから、地元町会や協議会では、その実質的な保障を、市に対して強く求めてきました。その結果、従前の売上金を廃止する代り、今後の3年間については、下記のとおり報償金への上乗せをおこなうものとして、13年度予算案に計上し、3月定例市議会で承認を求めることになりました。

〔改正案〕

年度	報 償 金 額	上 乗 せ 額	合 計
13	3 円 / kg	60 銭 / kg	3円60銭
14	3 円 / kg	30 銭 / kg	3円30銭
15	3 円 / kg	な し	3 円

※現在、売上金は資源品目によって1円あるいは50銭の値が付けられ、資源組合が町会・自治会に支払われているが、平均すると資源回収量1kgあたり60銭となる。

4月1日から家電リサイクル法スタート

すでに、クルクルクリーン16号（H13年2月11日発行）でもお知らせがあったとおり、家電リサイクル法がスタートしました。

4月1日から、冷蔵庫・テレビ・洗濯機・エアコンの4品目については小売業者が引き取ることとなり、柏市では、直接搬入も含めて、収集引き取りを行います。

なお小売業者等に引き取りを依頼する場合には、小売業者等が定める収集運搬料金のほか、リサイクル料金が必要となります。（センター・桜井）

〔リサイクル料金表〕

冷 蔵 庫	4,600円
テ レ ビ	2,700円
洗 濯 機	2,400円
エ ア コ ン	3,500円

よろしく！新規加入

新柏3丁目第一自治会

会長 石井 辰三

当、自治会は昭和62年に新柏3丁目第一自治会として発足した若い自治会です。

この会は会員相互の親睦をはかり地域内における環境整備に努めると共に潤いのある住み良い町づくりを目的としております。

会員の親睦を図るためレクリエーションとしてお年寄りから幼稚園児まで参加できるスポーツ、ポーリング大会を催し、また環境整備としてゴミ拾い等を行います。このような自治会ではありませんが、今回増尾近隣センター運営協議会に参加させて戴き、皆様との交流を深めより良い町づくりに一層努力してまいりますので、お力添えを宜しくお願いいたします。

新柏2丁目第一自治会

会長 杉山 明

今年入会させて頂いた私達新柏2丁目第一自治会は、活動15年目を迎え、増尾近隣センター運営協議会の一員として、皆様方のご指導を仰ぎながら、これからは、地域における住民の交流・互助が円滑に事が運ぶように役割を果たしていく所存です。

また、一歩づつ着実に活動の基盤を固め、心豊かなふるさとをつくれるように努めて参りたいと思っております。

今後共、宜しくお願い致します。



お知らせ

総会開催について

平成13年度近隣センター運営協議会の総会は5月13日(日)です。協議会役員は後日改めて文書で通知いたします。

新会員のご紹介

1月27日、増尾近隣センター運営協議会理事会が開催されました。現在、町会・自治会14団体で構成されていますが4月より新たに新柏3丁目第一自治会、新柏2丁目第一自治会の2自治会が入会されることになりました。平成13年度からは16団体での組織となります。（総務部・綿貫）

ごみゼロ運動について

今年のごみゼロ運動は5月27日(日)8時30分より行う予定です。昨年同様に皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

ゴミをへらすのに何が大切か？

それは3つのRです。

1. R E D U C E (減らす)

買い物をするときゴミになるものを買わない。マイバックを持って行く。

2. R E C Y C L E (リサイクル)

不要になったものを資源として回収し、再生品として活用する。

3. R E U S E (繰り返し使う)

家庭用品等は修理して使う。

（環境部・吉澤）

優良実践団体として表彰されました

1月24日「プラザハイアン柏」に於て「東葛飾地区さわやかハートちば推進協議会」より、増尾地区では「加賀寿楽会」と「加賀女性の会」が表彰されました。

本協議会は「さわやかハートちば県民運動」の普及啓発事業を行っているところで、運動の趣旨にふさわしい活動をしている個人または団体に「優良実践者」として表彰されたものです。表彰状授与の後、沼田知事より「この活動は精神活動なので終わりが無い」という内容のお祝辞を頂きました。

（加賀女性の会・山崎）



柏市ふるさとづくり協議会等連合会定例会

2ヶ月に一度、持ち回りで行われている定例会、2月18日(日)は、当近隣センターの当番にあたり市内17地区からお集まりの役員の皆様に駐車場の誘導とお茶の接待など、早朝より理事の皆さんのボランティアで無事に開催されました。

囲碁・将棋大会¹/21日

平成13年新春囲碁将棋大会が盛会の内に終了することができました。以下成績を御参照下さい。

なお、今大会も有段者の参加者の割合が高かったので、次回は有段者は勿論、初心者者の参加を期待致します。

(文化部・高橋)

囲碁の部

(Aクラス)

優勝 斉藤 昭宏(加賀・5段)

準優勝 小野 耀平(増尾・6段)

3位 金子 幸夫(加賀・6段)

(Bクラス)

優勝 桜井 宏一(セウ・4段)

準優勝 古川 照夫(増尾・3段)

3位 三浦 明(増尾・3段)

(Cクラス)

優勝 堤 清(加賀・1級)

準優勝 今井 良晴(増尾・初段)

3位 渡辺 茂六(加賀・4級)

将棋の部

(Aクラス)

優勝 吉田富三郎(加賀・5段)

準優勝 森岡 暁(加賀・2段)

3位 松長喜久郎(加賀・4段)

(Bクラス)

優勝 程田 実(逆井・3級)

準優勝 茨木 朗(又良・2級)

3位 川北 孝夫(加賀・初段)



ボランティアのすすめ

春のような暖かさに恵まれた17日、柏市ふるさとづくり協議会等連合会主催による堀田力氏の講演会が開催されました。堀田氏は、ロッキード事件で検事として腕をふるった方ですが、現在は検事をおやめになりさわやか財団の理事長として、ボランティア活動に力を注いでいらっしゃいます。

講演会は、深い内容ながら時に笑いを交え、聞く人の心に染み渡り元気を貰うものでした。家族の米国での生活に、差別なく手を差伸べてくれたボランティア達。一方、帰国して体験した日本に馴染む苦労。これらが現在の活動の1つのきっかけだったそうです。

人の幸せは金品だけでは手に入れない。プライバシー、個性を尊重して、皆で助け合える社会を目指すのではないかと。その一例として、ボランティア銀行ともいえる地域通貨についての紹介がありました。

(コミュニティリーダー・中井 由三江)

健康教室²/24日

～ストレスをはねのけ、身体ものびのび～

2月24日(土)午後、氷雨の舞うあいにくの天候にかかわらず70名の参加者で「健康教室」が開催されました。講師は筑波大学附属盲学校教諭福光英彦先生。講話はストレスの功罪とストレスに強くなる方法、そしてストレス解消の手段としてストレッチ体操の役割等々。特にストレッチ体操の前後で各自の手足や腰の動く範囲が大きく広がった事に、参加者からは歓声があがるほどでした。講話の補助として、財団法人社会保険健康事業財団作成のビデオを今年度も利用し、好評を得ました。

今回は、女性の参加が大部分でした。テーマを工夫し、男性の参加をもっと呼びかけることが今後の課題となりました。

(保健体育部)



▲ストレッチ体操はストレス解消の手段です

懐かしい「歌のつどい」³/18日

コミュニティカレッジ事業として「20世紀、思い出の歌」を募集したところ多くの皆様からお寄せいただきありがとうございました。3月18日(日)近隣センターに於いて若城ひかりさん、坪井フミ子さん等と声を合わせて皆で歌い楽しいひとときを過ごしました。

(センター・宮崎)



▲「20世紀、思い出の歌」を皆さんで合唱

芸能発表大会³/11日

今年も当運営協議会の年中行事として、去る3月11日(日)地域の大勢の人達が集い、各サークルの多彩な演技が披露され、盛大な芸能発表大会が開催されました。

演技内容 舞踊・新舞踊・民謡・詩吟・手品・ダンス・カラオケ他

演技者 46組(111名)

参加者 約240名

(福祉部・千代間)



▲元気な声で合唱する増尾新星会のみなさん



▲「歌いすぎた男」を踊るSTEP1のみなさん



▲三味線と尺八に合わせて謡う勢都線会のみなさん

ワ～イワ～イ！ 近隣センターだ！

土小学校3年生見学会

昨年7月、加藤和子先生と大木敦先生担任の生徒64名は社会科の「地域のことを知ろう」で近隣センターを見学に来られました。その際、子供達が取材して書いた「きんりんニュース」と「バーチャル近隣センター」が、このほど完成し届けられました。

新聞づくりやホームページづくりを習い、それを使って当近隣センターを隣接のディサービスセンターのお年寄り達により詳しく紹介してくれた子供達に感心させられました。

(広報部・村井)

